

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成28年4月27日 NO.2 (101)

委員会・委員長紹介

4月19日(火)朝会時に、体育館で各委員会の委員長と活動内容の紹介がありました。今年の6年生はとても立派で感心することばかりです。この朝会時も、委員長一人一人から、委員会の様子や活動に向けての積極的な姿勢や意欲、決意を述べるその姿は本当に素晴らしいものでした。原稿を見る事もなく、堂々としていてとても頼もしく嬉しく感じました。これからも、国立七小の顔としてリーダーとして、様々な場面で活躍する6年生に大いに期待しています。

発表する6年生も立派でしたが、それを聞いている2年生から5年生までの態度や姿も素晴らしいものでした。誰一人として私語する児童もなく、皆が真剣に話に集中している様子にまたまた感心。思わずマイクを握り、全校児童を褒め先生方から大きな拍手をプレゼントしました。

委員会活動の定義について

学校内の自分たちの仕事を分担処理するための活動である。主として高学年の全児童が、いくつかの委員会に分かれて、自分たちの学校生活を向上発展させ、より豊かにしていくために、児童の発意を生かし、創意工夫して実際の活動を分担して行うものである。

(文部科学省学習指導要領より)



国立七小見守り会の方々への「感謝の集い」

4月25日(月)、体育館にて国立七小見守り会の皆様を紹介する朝会を行いました。お忙しい中、30数名の見守り会の皆様がご参集していただき実施された「感謝の集い」。これほどまで多くの方が児童の安心と安全のために日々ご尽力している地域は、国立では他にはありません。このことは、地域の誇りであり地域の自慢であると心から強く感じております。

感謝の集いでは、まず、学校長の合図で声をそろえ「ありがとうございます」と、日頃の感謝の思いを伝えました。次に、全児童のありがとうの思いを込め、6年生のOさんが代表で作文を読んでもくれました。その後、森久保会長さんと菊田事務局長さんのお話をいただきました。児童もしっかりとお話を聞くことができ、とても立派でした。最後に、たくさんの拍手を受けながら、見守り会の方々に各学年の間を歩いてもらいました。児童は、いつも挨拶をしている見守り会の方々と会うことができ、とても嬉しそうな表情でした。

見守り会の方々へ(児童作文)

いつも登校時、私達を見守って下さりありがとうございます。いつも無事故で登校できているのは、見守り会の方々のおかげです。あいさつをするたびに、自然と気持ちが良くなります。

暑くても寒くても天候に関係なく、1年生からずっと見守ってくれた見守り会の方々に尊敬します。

これからも大変な事があるかもしれないけれど、お体に気を付け私達を見守って下さい。これからもよろしくお願いします。

児童代表 6年1組 M.O

